

# 令和3年度シラバス (教科・科目：情報・社会と情報)

68 新潟県立高田南城高等学校

定時制課程	単位数	必履修・選択
午前部	2	必履修

教科書	学習書・他教材
『社会と情報 (東京書籍)』	課題プリント (教師作成)

学 習 目 標
情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解させ、情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するとともに効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報社会に積極的に参画する態度を育てる。

学 習 計 画		
学習項目	学 習 内 容	試験範囲 (学習期間)
第1章 情報を活用する (18時間)	1 わたしたちを取り巻く情報 2 アナログからデジタルへ 3 情報の表現と伝達	前期中間考査
第2章 ネットワークを探索する (17時間)	1 インターネットの利用 2 ネットワークとコミュニケーション	前期期末考査
第3章 情報社会の課題を見つける (15時間)	1 情報化の影響と課題 2 法律と個人の責任	後期中間考査
第4章 望ましい情報社会に向かう (20時間)	1 社会における情報システム 2 情報システムと人間 3 情報社会と問題解決	後期期末考査

計70時間 (50分授業)

評 価 規 準 と 評 価 方 法			
評価は、次の4観点から行う。			
①関心・意欲・態度	②思考・判断・表現	③技能	④知識・理解
情報や情報社会に関心をもち、身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて、思考を深め、適切に判断し表現している。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身に付け、目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け、社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。
総合的評価規準 以上の観点を踏まえ、定期考査、授業への取り組み・課題の提出状況等から評価します。			

授 業 の 進 め 方、 課 題 ・ 提 出 物 な ど
社会と情報の授業は、講義形式のものばかりでなく、コンピュータでの実習形式をとることが多いです。授業にしっかり取り組み、課題プリントを仕上げたり、コンピュータのアプリケーションソフトを操作していろいろな課題を完成してもらいます。授業への取り組み、課題の提出状況等から総合的に評価をします。

担 当 者 か ら の メ ッ セ ー ジ
情報モラルを身につけることを重要視します。携帯電話の正しい使い方を含めて、学習を深めてください。